

# 「大学生現役就職促進プロジェクト(仮称)」の推進

平成24年度概算予算要求額	12,708,542千円
特別要望枠	一般会計 6,354,271千円
	特別会計 6,354,271千円

## <現状>

昨年度の大学生の就職環境は過去最低の就職率となるとともに、大学未就職卒業者も10万7千人を超えるなど非常に厳しい状況。

今年度においても震災の影響等により、求人数が昨年度を下回る大学が多くなるなど非常に厳しい環境が継続。このままでは、大学の未就職卒業者が拡大し、「第2のロスジェネレーション」が生まれかねない。

- 新規大卒者就職率  
平成19年度： 96.9% → 平成22年度：91.0%
- 未就職卒業者数  
平成19年度：7万1千人 → 平成22年度：10万7千人
- 大学に提出されている求人が昨年度同様または下回っている大学数：77.1%（ジョブサポーターによるヒアリング結果 平成23年7月現在）

## <対応方針>

大学等と一層緊密な連携を図り、就職活動の始まる卒業年次前から未内定卒業者に対する卒業後の集中支援期間（卒業年の4月～6月）までジョブサポーターによる一貫した支援を実施し、大学等の未就職者の減少を図ることが必要（「大学生現役就職促進プロジェクト(仮称)」）。

当該プロジェクトの実施のため、全国に配置したジョブサポーターにより大学等との連携した業務を拡充して実施。

## <「大学生現役就職促進プロジェクト(仮称)」の内容>

- 早期に地域の魅力ある中小企業に視野を広げるための卒業年次前からの企業説明会の実施（新設）
- 大学と連携した就職支援の実施のため、ジョブサポーターの大学への出張相談の恒常化（新設）
- ジョブサポーターによる地域の魅力ある求人の開拓～企業の詳細情報の学生への提供（大幅拡充）
- 学生への切れ目ない支援を継続するため、大学と連携し年度末時点の未内定者の新卒応援ハローワークへの全員登録（新設）、及び未内定卒業者一人一人への担当者の配置による卒業後の集中支援の徹底（大幅拡充）



ジョブサポーターによる大学への出張相談のイメージ

# 大学生現役就職促進プロジェクトの取組の流れ

卒業年次前

大学4年次

卒業年（4月～6月）

新卒応援ハローワーク等による支援（職業相談、求人情報の提供、セミナー等）

大幅拡充

大幅拡充

就職活動の開始

新設

- 卒業年次前からの企業説明会の開催（早い段階からの中小企業に向けた視野の拡大）

- 大学への出張相談の恒常化（大学からの強い要望）

- 未内定卒業者への集中支援（未就職卒業者一人一人への担当ジョブサポーターの配置による個別支援の徹底）

就職

新設

- 年度末時点での未内定者の新卒応援HWへの全員登録（大学から新卒応援HWへの支援の移行。切れ目のない支援の継続）

大幅拡充

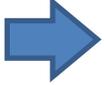
求人開拓の強化（魅力ある求人の開拓、写真・従業員コメント等を含む企業の詳細情報の提供）

新設

- 早期離職・フリーター化防止のための「内定者社会人基礎講座」の全国開催

# 大学生の就活における現状と課題

## < 1 大学生に関わる客観的情勢 > (資料出所) 文部科学省「学校基本調査」

- ① 進学率の向上 (大学・短大進学率)  
平成元年度 30.5% → 平成23年度 54.5% (+24ポイント)
- ② 新規就職者に占める大卒者の比率の上昇  
【平成元年3月卒】  
高校生 606, 150人  
大学生 300, 019人  
  
【平成23年3月卒】  
高校生 160, 320人  
大学生 340, 546人

## < 2 大学生の意識及び就活の現状 >

- ① 依然続く大企業指向 (資料出所) リクルートワークス調査：平成24年3卒  
中小企業求人倍率 (300人未満) 3.35倍  
大企業求人倍率 (1000人以上) 0.65倍  
(注) 従業員規模別就職希望者数については、大学3年生・大学院1年生の2月の時点での調査に基づき推計したもの。
- ② ネット就活の一般化  
・ ネットにより就職に関する情報の収集が容易になり、企業への応募の係る手間も著しく軽減する一方、次のような事例も発生。
  - ・ 100社にネットでエントリーを行ったが内定がまったくもらえない。
  - ・ 大学やハローワークの支援を受けず、ネットのみで就職活動を行った結果、不採用に係る問題点の把握・改善がいつまでも行えない。

## < 3 現状を放置した場合 >

フリーター等非正規労働者の増大。(フリーター数：平成20年 170万人→平成22年 183万人)  
第2のロスジェネレーション発生の懸念。(未就職卒業生数：平成19年度 7万1千人→平成22年度 10万7千人)

## < 4 今後の対策 >

中小企業にも視野を拡大することによるミスマッチの解消の促進が急務  
→ 大学等とハローワークが連携して「大学生現役就職促進プロジェクト」を実施

- ・ 早期に中小企業に視野を広げる卒業年次前からの企業説明会の開催
- ・ 大学の強い要望に応じた大学への出張相談の恒常化
- ・ 大学から新卒応援ハローワークへ切れ目のない支援を継続するための年度末時点未内定者の新卒応援ハローワークへの全員登録
- ・ 未内定卒業生への担当ジョブサポーターの配置による徹底した集中支援の実施

(参考) ジョブサポーターの支援により、平成23年度は6万3千人の学生(既卒、高校生等含む)の就職が決定(23年4月~9月)